

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和3年6月23日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県いなべ市藤原町藤ヶ丘8-3

氏名 ニッタ・デュポン株式会社

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0594-46-5120

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ニッタ・デュポン株式会社 三重工場
事業場の所在地	三重県いなべ市藤原町藤ヶ丘8-3
計画期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E32 製造業/ その他の製造業
② 事業の規模	117億円(2020年度売上実績)
③ 従業員数	109人(派遣社員含む)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①【廃油、廃溶剤】⇒業者(焼却)⇒業者(灰、埋立。一部溶融スラグ利用) ②【廃酸・アルカリ】⇒業者(中和・混練)⇒セメント原・燃料 ③【スラリー排水】⇒自社(フィルタープレス・脱水汚泥化)⇒業者(埋立) ④【廃プラ等混合物】⇒業者(破碎、分別)⇒業者(燃料化・再資源化、埋立) ⑤【廃プラ:フレコンバッグ、ポリ袋、パレット】⇒業者(分別)⇒固形燃料化 ⑥【木くず:木製パレット】⇒業者(破碎)⇒固形燃料化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
【グループ会社全体でISO14001の認証取得、組織化】当該事業所では、工場長(環境保全責任者)をトップとして、下に製造部長(環境推進責任者)を置き、その下に各課課長(環境推進員)が現場を指揮する構成となっています。事務局:総務課担当。産廃管理については、その組織と連動する形で、総務課(担当)にて、(電子)マニフェストを一元管理し、各課排出元担当者・職制と連絡しながら適正処理を行っています。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組) ・製造工程での、継続的な歩止り向上・不良廃棄品削減の取組み。 ・フィルタープレス(汚泥)行き廃液(スラリー)の製品品質向上による量の削減 ・ダンボール等再資源廃棄物の分別の維持管理 ・廃棄容器類のリサイクル(有価物)化、継続	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) ・製造工程での、継続的な歩止り向上・不良廃棄品削減の取組み。 ・フィルタープレス(汚泥)行き廃液(スラリー)の製品品質向上による量の削減 ・ダンボール等再資源廃棄物の分別の維持管理 ・廃棄容器類のリサイクル(有価物)化、継続	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【廃プラ】:空容器類(有価物)、フロンバッグ・ポリ袋・PPバンド・発泡スチロール(固形燃料化リサイクル)、軟質/硬質プラスチック(業者での細分別用途別けに資する) 【ダンボール類】産廃コンテナからの除去
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別に加え、コスト削減・リサイクル(有価物)化に繋がる分別を検討します。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 特にありません。	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 特にありません。	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) スラリー廃液のフィルタープレス機による、圧縮(減量)⇒汚泥化。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 特に有りません。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 対象物が有りません。	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 対象物が有りません。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組) (運搬、処分)委託業者と、現地確認時や適宜のコミュニケーションに於いて、「優良認定」の取得やリサイクル化の促進の確認を行っています。	

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(今後実施する予定の取組)	
	適正処理の維持、リサイクルの促進のために、良好なコミュニケーションを継続します。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います
 } 記入不要です

項目		廃棄物の種類																				合計量 (t)		
		ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ ゴムくず	ク 金属くず	ケ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コ 鋳さい	サ がれき類	シ ばいじん	ス 紙くず	セ 木くず	ソ 繊維くず	タ 動植物性残さ	チ 家畜のふん尿	ツ 家畜の死体	テ 動物系固形不要物	ト 13号廃棄物		ナ 建設混合廃棄物	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	3163	44	63	1112	441	0	0	0.1	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	4847.1
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																						0
		今年度目標	0	2822	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2822
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	341	44	63	1112	441	0	0	0.1	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	2025.1	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																						0
		今年度目標	0	2.2	44	63	1112	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1225.2	
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																						0
		今年度目標	0	3.2	44	63	1112	441	0	0	0.1	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	1687.3	
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																						0
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																						0
		今年度目標	0	1.2	44	0	20	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69.2

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。